

# 心記想伝

～事前相談をする  
人の想いとは～

私たちスタッフが最も大切にしている業務のひとつに「事前相談」があります。

なぜならばご家族がお亡くなりになる前にご葬儀内容を決めておく必要性があり、出来ることならばそれに関わりたくない、縁起でもない、と考える方もおられる中で、ご相談窓口として決してハードルが低くはないと思われる「葬儀社」に勇気をもって、ご相談を寄せていただけるからです。事前相談に至るまでには様々な経緯があり、ご高齢の親御様の身を案じて・・・病院で入院中のパートナー様のことを考えて・・・病気はないか高齢になった自分たちの将来を考え子ども様のために・・・など。

ご相談を寄せられる皆様の胸のうちにあることは「不安」であり、少しでも解消したい、「安心」に変えたいと思うからこそ、私たち「葬儀の専門家」に心の声をお届けしていただけるものと思います。

事前相談の中で、同じ立場になった場合に自分はどうするのか、家族を思うとは・・・と気付かされた実例がありました。その方は今の女性平均寿命から見るとまだ20歳ほど若く病気がちな傾向もなく、はつらつとした印象でとてもお元気な方でした。

ある時、身体に異変を感じ病院で検査を受けたところ、かなり深刻な状況にあり、今後の入院はもちろんのこと、治療方法についてもまだまだ生きていく希望を持ち、病気を治すために積極的に日々を過ごしていたとお聞きしました。

それから何カ月か経ったとき、私宛にお電話がありました。はっきりとした口調でしたが元気な頃に比べると声のトーンが落ちていることも伺えました。ちゃんと物事が考えられるうちに葬儀の希望を伝えておきたいというお話になり、しんどそうな息遣いの中でも言葉の端々に「子どものため」「ちゃんとしておきたい」という言葉を幾度も繰り返し、規模・お花やお骨壺の希望・旅立ちしていく姿であり寂しくならないカタチを考えてほしい、もしもの時にお子様におりる保険の確認まで、しっかりと意向を伝えられました。

懸命に生きてこられた最期は希望のご自宅にて最愛のご家族に見守られ、お旅立ちをされました。故人様を横にしてのお打ち合わせはお元気な頃の写真を見ながら、ご本人が決めていた遺影写真の構成にはじまり、お聞きした言霊をしっかりと遺族様にお伝えし、後悔なきよき思い出とするご葬儀を創造し、提供することに集中させていただきました。出来上がった遺影写真・会葬礼状・祭壇生花・ご本人様をイメージしたお骨壺・お棺・その中で自然な化粧が施されお旅立ちに相応しい着物姿で眠る故人様。

ご主人様、お子様方々、ご姉妹からは心温まるコメントがあり、お孫様からはサプライズなメッセージカードがあり、この先いくつもの移ろいゆく季節の中でもご家族にとってこの葬送が人生の節目となり色褪せない思い出になったのではないかと思います。

私たちが忘れてはいけないこと、それは事前相談をする方のこれまでのプロセスを想像し、おひとりおひとりの声を傾聴することです。軽い気持ちでご相談に来られるのではなく、心の中で迷いや葛藤があり、なかには身体的につらい思いをしながらの方もおられます。思いを届けていただいた以上は、それに応える義務があることを常に心に留めておきたいと考えております。



# ドリーマー社内 ボウリング大会開催!



読者の皆様、そしてスタッフの皆様、おはようございます。こんにちは。こんばんは。  
決起大会の幹事を務めました大野です。

7月19日に決起大会と称しまして、ボウリング大会を開催させていただきました。

コロナの影響で外出が減り、体を動かすことも少なくなった昨今。5月からコロナも5類になり、今年は少しでも体を動かそうと思い、また新人さんや若い子も入社し、コミュニケーションの場としても良いのではないかと考え、この企画を提案させていただきました。

例年とはまた違った内容となりましたが、日が近づくにつれ、事務所のあちらこちらでやる気や楽しみの声があり、粉骨砕身の思いで一層気合を入れた次第でした。

## 「仕事は真面目に。遊びは全力で。」

ドリーマーの漢Oさんの言葉です。幹事を務めるにあたり、参加者全員に楽しんでもらいたいという気持ちがあり、どうすればいいか悩んでいた時、この言葉が頭をよぎりました。

気づいたら片道2時間かけてドン・キホーテに行き、商品を漁っていました。  
自分の行動力にビックリです…なんの成果も得られませんでした…泣



話が逸れました。失礼しました…。実は私、幹事を務めるのが初めてで、右も左も分からない中、先輩方の助けもあり、なんとか無事務めを果たせたと感じております。

当日はたくさんの方に参加していただき、あまり接点がなかった人同士や、後輩達が上司、先輩と話している光景も見られました。特にストライクを取った時や惜しかった時などはすごく盛り上がり、自分のチーム以外の人ともハイタッチしていたのを見た時、言葉には表せない不思議な気持ちになりました。

筋肉痛になった方もいたと聞きましたが、楽しかったという声もたくさんいただきましたので、幹事冥利に尽きると同時にドン・キホーテまで行ったことが報われたようです…。

今回幹事として感じたことは、ものすごく大変だったということです。全国の幹事さんの気持ちが少し分かりました…

幹事の皆さん、毎度お疲れ様です。

ですが貴重な経験となりました。次回があればもっと余裕を持って臨みたいです。決起大会を通して、より一層一致団結出来たと感じております。スタッフ一同、これまで以上に、ご遺族様の為、精一杯お手伝いさせていただきますので、今後ともドリーマーをよろしくお願ひ致します！

